

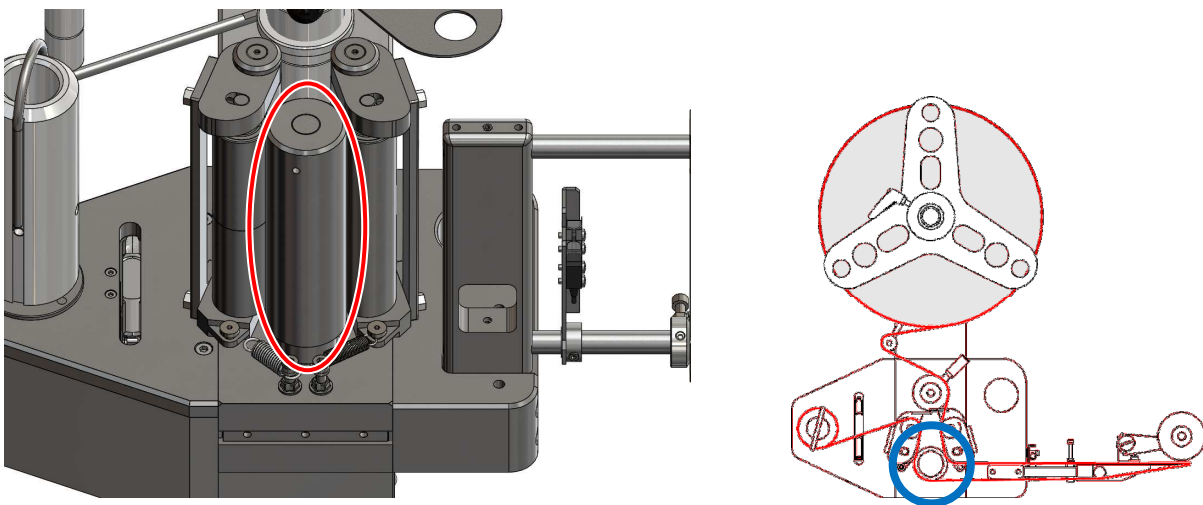
# フィードローラー交換手順

AUTOMATIC LABELING SYSTEM

## LA-5 シリーズ



本機を末永くお使いいただくために、またトラブルや故障を未然に防ぐためにも、日常のお手入れが必要です。作業終了後は、毎日清掃して常に清潔に保つよう to してください。



<本手順書は、本機に以下の症状が見られる際にご参照ください。>

- ラベルの停止位置が定まらない
- ラベルがフィードローラー上でスリップし正常に繰り出されない
- フィードローラーと金属の押さえローラーの間に隙間がある

# フィードローラーを交換する



## 警告

- 交換を行う前に、**操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ってください**。ラベラーの駆動部やコンベヤーベルトに、手を巻き込まれる可能性があるため危険です。

### < 交換前の確認と処置 >

以下を確認し不具合が解消する場合、フィードローラーを交換する必要はありません。

- フィードローラーの固定ネジが緩んでいないか確認して下さい。緩んでいる場合はネジを締め付け、受け軸に固定して下さい。
- ロックレバーが締められ、フィードローラーと押さえローラーが閉じてラベルを挿入できるか確認して下さい。閉じられていない場合はロックレバー回してローラーを閉じて下さい。
- フィードローラーに剥がれたラベルや台紙などが付着していたり巻き付いたりし、フィードローラーと押さえローラーに隙間が出来ていないか確認して下さい。付着、巻き付きが有る場合清掃し取り除いて下さい。
- ラベルの経路上にラベルや台紙などが付着して負荷となり、ラベル繰出しを妨げていないか確認して下さい。付着、巻き付きが有る場合清掃して取り除いて下さい。
- ラベラーにセットしているラベルの掛け方が間違っていないか確認して下さい。付属の経路図シート又は、取扱説明書等を参照し正しく掛けて下さい。

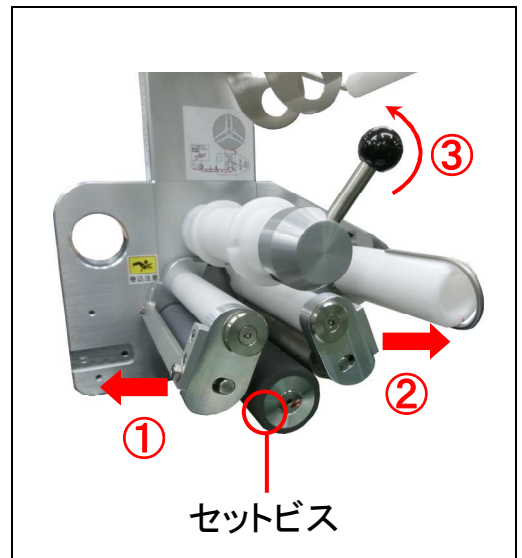
### ■ 作業開始前にご準備頂くもの

- 六角レンチセット



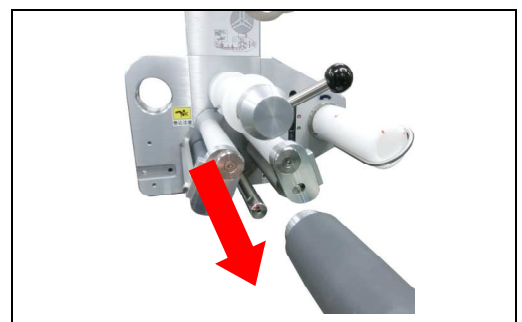
**1** 操作パネルとコンベヤーの電源スイッチを切ります。

**2** ロックレバー(①)を回し、押えローラー(②③)を開放します。



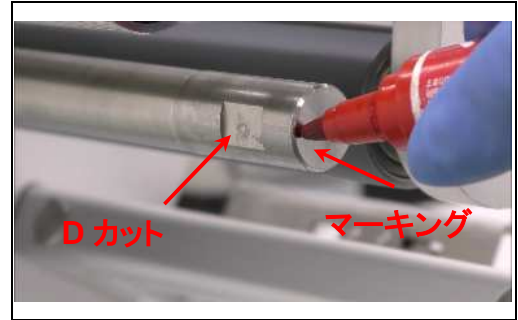
**3** フィードローラーを固定しているセットビスを緩めます。ローラーの手前側の一か所で固定してあります。

**4** フィードローラーを手前側へ引き抜きます。



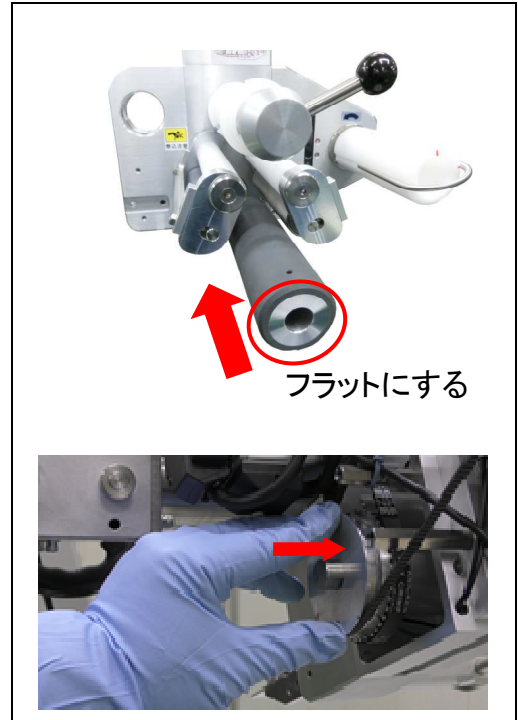
**5** セットビスはドライブシャフトの平面部分 (D カット) に対して固定する必要があります。

- D カットの位置が分かるようシャフトにマーキングしておきます。



**6** 新しいフィードローラーを奥側へ差し込みます。

- フィードローラーを差し込む際、フィードローラーの受け軸がラベラーフレームに押し込まれてしまうことがあります。そうなった場合、受け軸を手前側に引き出して元の状態に戻してください。



- 受け軸が奥にずれてしまう場合は裏カバーを外し、受け軸に固定されているプーリーごと表側に押した状態でフィードローラーを差し込んでください。

〈受け軸について〉

機械No.L50N2940 以降に製造されたものは受け軸が奥にずれないように改良されております。

**7** フィードローラーとドライブシャフトの端面をフラットにした状態で、セットビスを締め付けます。

わずかにシャフトが凹んだ状態になる事も有りますがローラーを押し引きし、ガタツキが無ければ大丈夫です。

- セットビスの位置とマーキングの位置 (D カット) が一致していることを確認しながら締め付けます。
- セットビスの締め付け後、奥手前方向にガタつきがないことを確認します。
- ガタつきがある場合、手順 6 を再度実施してください。



**8** 操作パネルの電源を入れ、フィードローラーが正常に動作しラベルが貼付けられることを確認します。

■ 貼付が行えない場合

- ① 1 ページく 交換前の確認と処置 > の項目に従って各部分の確認を行ってください。
- ② 不具合が解消しない場合はメーカー又は代理店までお問い合わせください。